

第 4 回台東区住宅マスタープラン策定に関する 意見交換会（R6.11.1）における検討事項と対応

	検討事項	対応	資料
	議事（2）台東区住宅マスタープラン中間のまとめ（案）について		
1	・ 第 2 章が現状を示すデータから始まっており、唐突感があるので、冒頭に説明を入れたほうが良いのではないか。	・ 冒頭に全体のまとめを追記した。	資料 4 (P8)
2	・ 5 6 ページの施策、5 7 ページの指標に続いて、5 8 ページに「台東区マンション管理適正化推進計画」が何の説明もなく挿入されており、なぜここに記載されているのかが少しわかりにくいと感じる。これは、施策 4 の「マンションの管理適正化の推進」のための取組みのひとつであり、主な施策・事業を実現するための法的な裏付けのようなものであるから、そのような説明を記載するなど、意図を明快にしたほうが良い。	・ 施策の柱（1）マンション管理組合等の運営支援のページに、台東区マンション管理適正化推進計画の説明を追記した。	資料 4 (P59)
3	・ 3 ページの計画の位置付けについて、この図では、マンション管理適正化推進計画が住宅マスタープランに包含されているように見えず、マンション管理適正化推進計画が住宅マスタープランのサブタイトルのようにになっている。	・ 計画の位置付け図を修正した。	資料 4 (P3)

4	・ 55 ページに「アウトリーチ型」とあるが、高齢者には言葉の意味がわからない可能性があるため、語句の説明があった方がよい。わかりやすい表現にしてほしい。	・ 意味のわかりにくい用語については、資料編に用語解説のページを設けた。	資料 4
5	・ 50 ㎡以上の住宅を拡充する施策が今回示され、前回、流山市など子育て支援のいろいろな事例を共有いただいた。住宅課を含む都市づくり部における施策だけでカバーできるものではないが、子育てファミリー、共働きの方、アクティブシニアの方など、50 ㎡以上の住宅に住む人向けのソフトサービスについて、庁内での連携を深めるとともに民間と協力しながら進めていく、という一文をどこかに記載できたら良いと思う。	・ 庁内で連携して、総合的に進めるという視点が重要であるため、第 1 章の 4 関連する各分野との連携及び第 6 章の 1 施策を推進するための連携の中で記載した。	資料 4
6	・ 都にしても区にしても、子供が住みやすい住環境が整えられていく必要があると思う。23 ページの住生活基本計画の②「居住者・コミュニティ」の視点に、「子どもを産み育てやすい住まい」とあるが、計画のどこかにもう少し具体的な施策についての記載はあるか。	・ 子育て世帯等の居住環境の向上については、83 ページ以降にその取組みについて記載している。住宅マスタープランの性格上、住宅に関わる内容を中心に記載しているが、住宅以外の取組みも必要と考えているので、子育て支援部署と連携しながら総合的に進めていきたいと考えている旨回答。	資料 4
7	・ 施策・事業名に（再掲）とあるが、これはどのような意味・基準で記載されているか。	・ 既出の施策・事業について、再度掲載しているものを（再掲）としている。冒頭に表記に関する説明を記載した。	資料 4 (P44)

8	・ 施策・事業名を一覧にして、どこに紐づいているか、目的に対してどこを見れば良いのか、わかりやすくなるようインデックスがあっても良いと思う。 また、3章で全体像を示して、4章で個別の施策を示しているが、4章－1の施策体系は、3章の全体像を見せるところで見せたほうが理解しやすいと思う。	・ 施策体系図を第3章に移動し、第4章の冒頭に主な施策・事業一覧を追記した。	資料4 (P40) (P44)
9	・ 第4章のマンション管理適正化指針について、「防災や美化などのマンションの管理業務を自治会が行う活動と連携して行うことも差し支えない」という文言は、判例があり、説明が難しいものとなっているので、もう少しわかりやすく書いたほうが良いと思う。	・ (参考になる資料を教示いただき) 資料等を参考に文言の修正について検討する旨回答。 →参考資料に基づき、検討を行った結果、修正は行わずそのままの表記とすることとした。	—
10	・ 91ページの物件紹介率とは何か、教えてほしい。受けた相談のほとんどが契約に至っているということか。	・ 入居相談窓口において、相談に来られた方に対して、協力不動産店を通じて、物件のご案内ができた割合である（ご案内した物件が契約につながった割合ではなく）旨回答。	—
11	・ 第6章に民間や事業者等との連携について書かれているが、施策の相関図を作るなどわかりやすくしたほうが良いと思う。施策体系図がカラーになっているが、その周りに住宅課の施策以外の、区として取り組むものを紐づけた図があるとわかりやすい。	・ 施策横断的に取り組まないと効果が発揮できないものもあるため、第1章の4関連する各分野との連携にイメージ図を掲載、第6章の1施策を推進するための連携の中で協働・連携について記載した。	資料4

12	・施策5「良好な地域環境の形成」とあるが、目指す姿は「魅力的な地域環境」という表現になっているので、合わせてはどうか。また、施策8（3）に「観光と調和した生活環境の確保」とあるが、治安の中に観光と調和した生活環境を含めるとなると、わかりにくいように感じるので明快な書き方ができればよいと思う。また、施策9「空き家化の防止による安全で快適な住環境の形成」とあるが、空き家の防止だけで、安全で快適な住環境が形成されるわけではないと思うので、目指す姿が「住環境が確保され」となっているように、「形成」ではなく「確保」とするなど、空き家化の防止により住環境を維持・メンテナンスする意味合いを強くしたほうが良いと思う。	・施策5を「魅力的な地域環境の形成」に修正、施策8（3）を「安全で快適な生活環境と観光の共存」に修正、施策9を「空き家化の防止による安全で快適な住環境の確保」に修正した。	資料4
13	・施策体系の色使いが見にくいと感じる。基本目標1・2は、帯背景と体系図の色が合っているが、基本目標3は異なっているので修正いただきたい。	・色使いについては、グラフも含め視覚的な見やすさを精査していきたいと考えている旨回答。 →最終案に反映。	資料4
14	・本文中、3～4種類のフォントが混在しているが、同じほうが読みやすい。	・読みやすくなるよう見直す旨回答。 →最終案に反映。	資料4

15	・子育て世帯に関して、施策10にハード面についての記載があるが、施策6の「豊かな地域コミュニティの形成」には、子育てに関するコミュニティの話が出てこない。町会、マンション管理組合、多文化の話に終始しているので、地域に入っても子育てができる、ということアピールしたほうが良いと思う。	・住宅マスタープランの中で、どのように記載できるかを検討する旨回答。第1章の4関連する各分野との連携にイメージ図を掲載、第6章の1施策を推進するための連携の中で協働・連携について記載するとともに、子育てに関するコラムを掲載した。	資料4
16	・施策2「住宅の耐震化・防災対策の促進」について、(3)マンションの防災～とあるが、(1)(2)の住宅に関しても「防災」という表現があったほうが良いのではないか。一般住宅においても防災に対する支援があることをわかりやすく書いておくと思う。	・戸建て等に関する防災対策については、施策7に不燃化、ブロック塀の改善などの取組みがあり、施策2と合わせて取り組んでいくことを考えている旨回答。	資料4